



救命救急法講座
●問い合わせ先 住民課 TEL 72-3111(内線142) 総合窓口課 TEL 72-2111(内線313)
救命救急士を講師にお招きし、身近な場所で起こる事故のことや、乳幼児の心肺蘇生やAEDの使用の流れなどを学ぶ講座を開催しています。

保健師とお母さん方の懇談の場の提供
子育て中のお母さんの目線で、とても身近で参考になるお話しを楽しむおしゃべりしながら気軽に質問などができます。

子どもを育てることは、日々の成長が大きな喜びである一方、不安や悩みも尽きないものです。また、近年の社会変化の中で、個人や世代間の価値観の多様化が進み、育児の悩みを相談できる人がいない子育て家庭などが増えています。町では平成21年6月「たいへいの里」に子育てに係る子育て世代の支援や情報提供の拠点として子育て支援センターを開設しています。

子育て支援センターでは、全身で音楽を感じながら動き歌い、親や友だとのコミュニケーションをとりながら遊ぶリトミック教室、一緒におやつ作りをしながら「食」について学ぶエプロンママなどのイベントを毎月開催しています。子育て中の親が集い、交流できる場を設けることで保護者の仲間づくりにつながり、もっと子育てが樂しくなるよう様々な支援をしています。

地域の豊かさ・食の大切さを伝えたい 地域の皆さんといっしょに 芋掘り体験

人とのつながりを大切に 地域のボランティアが 夏祭りを盛り上げる

大平保育所では、「下唐原東区地域おこしの会」の協力により、毎年芋掘り体験を行っています。

子どもたちは芋畑に行くと、地域おこしの会の宮本さんから簡単な掘り方の説明を受け、「一生懸命芋を掘ります。大きな芋やいくつも繋がった芋を掘ると、あちこちで大歓声があがります。掘った芋は保育所に持ち帰り、大芋イモやてんぷらにして給食やおやつの際においしく食べています。また、家庭に持ち帰って家族みんなで料理して食べています。

こうした地域のたくさんの皆さんと共に汗を流す体験を通じて、豊かな人間性を育成することができます。また、土に触れ収穫することが、地域の農作物の豊かさや食の大切さを知ることにつながります。



近年、核家族化や都市化などにより地域のつながりが希薄化し、子育てに対する不安や負担感が大きくなっています。この状況の中で子どもたちが心身ともに健やかに育つ社会、安心して子どもを産み育てることができる社会を実現することが求められます。

かつての地域社会では、子どもを育てるということは、親だけでなく全ての大人の責務でした。しかし、経済的に豊かになるにつれ隣近所や親戚で生活を助け合い、相談し合う習慣が少なくなるなど、地域社会の関わりも薄れています。子どもたちは、家庭と保育所や学校とだけ関わり、親、保育士や先生たちだけが子育ての当事者になってしまふ傾向にあります。その結果、子どもと子育てを地域で見守る、地域で支えるという意識が薄れ、また、家庭での育児力も低下してきていると言われています。

上毛町では、地域で支える子育てのネットワーク形成のため、保護者や地域ボランティア団体などが一体となって、主体的かつ積極的に子育てに関わるように、様々な取り組みを行っています。

自ら成長する力をもつ子ども。その成長を伸ばすため、地域のあらゆる年代の方との触れ合いや自然体験をする機会を創ります。

地域みんなで子育てを応援

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために、町が取り組んでいる事業の「プロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものです。今月は、「地域で子育てを支援する取り組み」の現場からお届けします。

子どもが健やかに育つまちをめざして

地域の方々が読書ボランティア
心豊かな子どもに育つてほしい

「大平読書クラブ」の皆さんには、保育所などで、それぞれの年齢に合った絵本や手作りの紙芝居を使い、読み聞かせを行っています。30分程度という短い時間ですが、子どもたちが集中して楽しめる貴重な時間となつております。子どもたちに本を読むことの面白さや楽しさ、日常的な読書習慣を身につけるきっかけになるよう支援活動をしております。

Interview
田島規子さん
代表

平成14年から、子どもたちに、「絵本の読み聞かせ」を行っています。活動を始めたきっかけは、週休二日制になつたことで、子どもの休日の過ごし方の一つの選択肢になればといつ思いで始めました。

現在会員は8名で、新吉富保育所と大平保育所に月1回ずつ訪問し、読み聞かせを行っています。また、友枝小学校や唐原小学校、大平放課後児童クラブや西古富放課後児童クラブでも読み聞かせを行い、図書館祭りにも参加しています。

活動していく印象的なことは、「子どもが絵本を聞くときの集中した姿がとても生き生きとしていることです。そのときは、絵本を読んでいてとても楽しく私たちに力を与えてくれます。

私たちは、素人のおばちゃんたちの集団ですが、みんなで知恵を出し合い、絵本を読み合い、話し合い、楽しく活動していますが、現在人手不足なので一緒に活動していくだけの方を募集しています。若い方も、お孫さん大好きなおばあちゃんも大歓迎です。

●連絡先 田島規子 TEL 72-22318



救命救急法講座
●問い合わせ先 住民課 TEL 72-3111(内線142) 総合窓口課 TEL 72-2111(内線313)
救命救急士を講師にお招きし、身近な場所で起こる事故のことや、乳幼児の心肺蘇生やAEDの使用の流れなどを学ぶ講座を開催しています。

